

## 鶴見川多目的遊水地土壌処理技術検討委員会

第1回(平成12年1月7日)

平成12年1月7日、鶴見川多目的遊水地内のインフォメーションセンターにおいて第1回鶴見川多目的遊水地土壌処理技術検討委員会が開催されました。

同委員会は遊水地内で確認されたビニール片やPCBを含んだ土壌などを適正に処理する目的で京浜工事事務所が設立したものです。

当日は設立趣旨、委員会規約の承認をいただき、現況説明と現地視察が行われました。

視察の後、今後の委員会の進め方などの討論をしていただきました。

### 討議内容

#### 1. 廃棄物の範囲と量について

- ・範囲および量について再確認する。
- ・土地利用の状況を聞き取り調査する。
- ・旧地主ごとに発生物を分類する。
- ・国際的な事例の調査をする。

#### 2. 補足調査

- ・ダイオキシンの調査を行う。
- ・地下水の分析を行う。
- ・地下水脈の流向調査と周辺環境の調査を行う。
- ・PCBの成分分析を行う。
- ・遊水地外周辺の汚染の有無を調べる。
- ・生物のモニタリング調査を行う。

#### 3. 対策

広範囲な選択肢を検討する。

#### 4. 今後の予定

次回の委員会は平成12年3月7日(火)14:00から新横浜で行う。

### 議事次第

- ・開催日：平成12年1月7日(金)
- ・時間：10:20～12:30
- ・会場：鶴見川多目的遊水地 インフォメーションセンター会議室
- ・議事：
  - 1.開会 … 事務局
  2. 事務所長挨拶 … 関東地方建設局 京浜工事事務所 所長 細見 寛
  3. 設立趣旨説明 … 事務局
  4. 規約説明 … 事務局
  5. 委員紹介 … 事務局

6. 委員長挨拶 …… 京都大学 防災研究所 教授 嘉門 雅史
7. 事業計画説明 …… 事務局
8. 現況説明 …… 事務局【現地視察】
9. 討議(今後の進め方)
10. その他 …… 連絡事項 事務局
11. 閉会 …… 事務局

## 第1回委員会 委員名簿

区分	氏名	所属・部署・役職
委員長	嘉門 雅史	京都大学 防災研究所 地盤災害研究部門 教授
委員	永田 勝也	早稲田大学 理工学部 機械工学科 教授
委員	岸 由二	慶応大学 経済学部 生態学 教授
委員	細見 正明	東京農工大学 工学部 応用化学科 教授
委員	山本 和夫	東京大学 環境安全研究センター 教授
委員	酒井 伸一	京都大学 環境保全センター助教授
委員	田中 勝	厚生省 国立公衆衛生院 廃棄物工学部 部長
委員	酒井 憲司	建設省 土木研究所 下水道部 新下水処理研究官
委員	三木 博史	建設省 土木研究所 材料施工部 土質研究室長

\* 永田委員は都合によりご欠席です。

三木委員は都合によりご欠席で、代理として小橋氏、森氏のご出席です。

## 設立趣旨

鶴見川では現在、流域の抜本的な総合治水対策として鶴見川多目的遊水地を建設中です。遊水地排水門工事箇所において地表から2m以深にPCBを含有する廃棄物が確認されました。。廃棄物は土にビニール片・木片などが混在しPCBが付着している状況です。

そこで、PCBの拡散防止などの適正な対策を策定することを目的とし、各専門家から構成される「鶴見川多目的遊水地土壌処理技術検討委員会」を設置するものです。

なお、本委員会の内容を公表することにより、地域住民の方々にも遊水地のPCB拡散防止などについてご理解を深めていただきたいと考えております。

## 規約

### 名称

第1条 この委員会の名称は「鶴見川多目的遊水地土壌処理技術検討委員会」(以下「委員会」という)とする。

### 目的

第2条 委員会は、鶴見川多目的遊水地内におけるPCBの拡散防止の適正な対策を策定することを目的とする。

#### 委員会組織

第3条 委員会は、委員長および委員をもって組織する。

2 委員長は、京都大学 防災研究所 地盤災害研究部門 教授 嘉門雅史とする。

3 委員は、別表-1 に掲げるものとする。

4 委員会の書記は、事務局がこれにあたる。

5 委員長は、必要と認めるとき 3. に掲げる者以外の者の出席を求めることができる。

#### 委員の運営

第4条 委員会は、事務局により運営を行う。

#### 委員の運営事務局

第5条 委員会の事務局は、建設省京浜工事事務所が行う。

#### その他

第6条 この規約に定めるもののほか、委員会運営に必要な事項は委員会に諮って定めるものとする。